

家庭学習のてびき

小学校用（中学年）



家庭学習のねらい

- ☆学習のしゅうかんを身につける。
- ☆こつこつとがんばる心を育てる。
- ☆学習の内容を確実に身につける。

湯浅町教育委員会

か てい がく しゅう 家庭学習のてびき (3・4年生用)



家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、
たし 確かな学力を身につけるためのものです。

毎日こつこつと続けていくことが、あなたの
生きる力を高めていくのです。

さあ、できるところからつづけてがんばってみましょう。

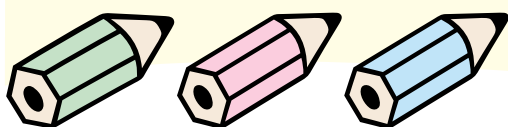
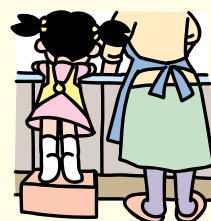


1 毎日、家庭学習をしよう!!

学力アップは
規則正しい生活から!!



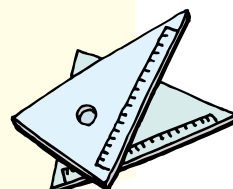
- ① 早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ② 家の手伝いを何かひとつでもいいからすすんでやろう。
- ③ 自分から声を出して、まわりの人にあいさつをしよう。
- ④ 読書をしよう。
- ⑤ ニュースや社会のできごとに関心をもとう。
- ⑥ わからないことや新しく発見したことは自分で調べてみよう。
- ⑦ 毎日30～40分は、学習しよう。
- ⑧ 明日の学習や用具の準備をしておこう。



2 宿題のほかに こんな学習をしてみよう!!

できるところから!!

- ① はっきりとした声で音読の練習をする。(お家の人に聞いてもらおう。)
- ② 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ④ 今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写す。
- ⑤ ドリルなどを使って、計算問題をたくさんといてみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べる。
- ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。



家庭学習の手引き（保護者用）

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとっても大切なものです。

小学校のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちにきちんと身に付けさせましょう。

1 家庭学習の習慣化に向けて

- ① 担任が出す「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」を参考にさせてください。
(上の学年に進むにつれて、自分で考えてできるようにするといいでしょう。)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお話づくりなどでもかまいませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

- ・低学年 …… 15分から20分以上
- ・中学年 …… 30分から40分以上
- ・高学年 …… 60分以上

他にも、学習時間のめやすとして
((10~15分)×学年)を示している例があります。
お子さんの状況に応じて、時間を決めましょう。

目標の時間を決めることが大切です。

3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。

「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

② 学ぶための環境づくり

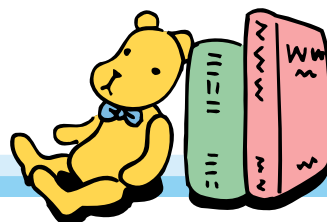
例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。「がまんすることは、がまんする。」これが一番大切です。

③ 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりすることで、お子さんはどんどんやる気を出します。お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いいたします。

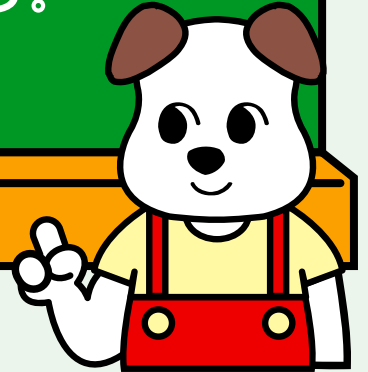
④ 学校との連携

お子さんの学習の様子で気になることがあれば、担任にお知らせください。



家庭学習のやくそく

- ★ 毎日、決めた目ひょう時間勉強する。
- ★ 正しいしせいで、字もていねいに書く。
- ★ テレビやゲームなどをけして集中して勉強する。
- ★ 学習したことはお家の人に見てもらう。



家庭学習の目ひょうを決めましょう

1

2

3

名 前